

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 071	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 野生鳥獣を寄せ付けない効果的な忌避物質を用いた被害防止技術開発について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 近年、野生鳥獣による農作物被害が急増しており、農業者が被害を受けても防除方法等の解決策が難しいことから、営農意欲の減退や耕作を諦めたりして、耕作放棄地に繋がっているケースも少なくありません。農家自ら狩猟免許を取得し、猟友会等と連携した駆除対策に取り組んでおりますが、捕獲という手段は被害防除対策によっても被害等が防止できない最終的な手段であります。 また、捕獲以外の被害防除対策として、過去にはイノシシの忌避効果があるとされていた青色発光ダイオード(LED)ライトを購入し、効果を検証したところ、効果は一時的なもので期待できるような忌避効果は確認されませんでした。今後、農作物等に野生鳥獣を寄せ付けないような、効果的な忌避物質を用いた被害防止技術の試験検討をお願いしたい。	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画調整部
対応区分	実施 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 昨年度も同様の要望をいただいておりますが、鳥獣害防止技術に関する研究課題の設定については、研究対象となる技術及び実現可能性の有無により判断することになります。 忌避物質に関しては、平成21年度の研究成果として「ブドウ栽培におけるイヌの被毛の設置によるハクビシン食害防止」を公表していますが、新たな忌避物質のスクリーニングや効果試験は予算や時間的な問題から実施困難です。鳥獣害に関しては全国的な問題でもあることから、独立行政法人や他県の情報を農業革新支援専門員との連携により収集整理し、本県に適用可能な技術を環境部局及び普及部門をとおして支援してまいります。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			